

クニ

定義
名詞

1. 国家（日本語からの翻訳）
2. 古代の共同体、小規模だが独立している。

クニ・マニフェスト

クニは、最初のひとりの意志さえあれば、どこにでも作り出せる。いまは滅びゆくように見える集落でさえ、ひとつの意志から始まって再び呼吸をとりもどす未来がある

縮む地方に絶望し、怪物のように大きくなった都市に怯えるだけなら、わたしたちは一体どこへ行けばいいのだろう。虚像に踊らされ、流行の下僕になり、わたしたちは「買いつづける」しかないのだろうか。

「買うだけ」ではなく「つくる」こと、何かを「見せられる」だけではなく「見つけること」、一方的な送信ではなく、人が人の前に立って話すこと、そんな簡単なことが、いつからこれほど難しくなったのだろう

クニの人々は会って話す。みのりの多さ、台風の被害、子供が生まれた話、仲間が亡くなったこと。今朝の野菜の味、山で飲んだ泉の味、風の匂い、昨日の雨の冷たさを話し合う。

このようなクニは夢だろうか。いいや違う。それは具体としての未来である。はじめに小さな意思があればよい。

● クニとは新たな共同体の名前である

クニは 500 人から 2000 人以下の人々で構成される。小さすぎるとは？小さい農村の共同体は急激な衰退によって多様性を失い、相互監視と小さな独裁が現れる。大きすぎる場合は、巨大都市が過剰肥大を続け、人々は背景化してしまう。

● クニは皆が平等である

クニでは土地がもたらす豊饒と試練を共有する。これが人々を引き寄せ、「われら」という感覚を作り上げる。人種、宗教、貧富、イデオロギーによる区別や差別は一切存在しない。

- クニは地域運営組織(RMO)を持つ

RMOは、小さな公を担う民主的な組織である。小さな公には、子どもたちへの五感教育、高齢者の健康維持、様々な地域活動のための事務処理等が含まれる。また往還者とのつなぎ、地域資源産業の育成、小さな公共交通、環境の保全も行う。小さな公の実施によって、地域運営組織（RMO）で働く若者の総合的な政策能力が向上する

- クニでは定住者と往還者が繋がる

クニは定住者だけでつくられるものではない。土地に愛情と帰属感をもって都市から往還する人々との共同によって初めて現れる共同体である。

- クニは自給自足である

クニの経済は自給自足で、互恵的である。クニの自給力は、都市生活のストレスと不安に対応する保険的な力を持つ。往還者はクニに経済活動と新たな関係性をもたらす。

- クニでの生き方は円環的で美しい螺旋を描く

クニの基本は「円環」であり、生産と消費の均衡がとれている。円環的な生活を送る人は、時間の経過とともに、美しい螺旋を描く。

- クニは個々の人間を大切にする

クニでは、人間を部品化しない

- クニは現代だからこそ求められている

都市は膨張を続け、野生化し、地方は消滅している。

- クニは他者とともに生きたいと願う若者たちのための場である

縮小しつつある地域行政はもはや細やかな公を行う力が無い。RMOが代わりにサービスを提供し、若者が未来を築く手助けをする。

現代のシーシュポスを目指せ。
今こそ立ち上がれ。
これは静かな革命の始まりである。